

学 校 通 信

# 小竹だより

練馬区立小竹小学校 校長 佐藤 正文



開校60周年臨時号

R2.9 No. 563

## 西暦2000年 小竹小学校 40周年記念誌より

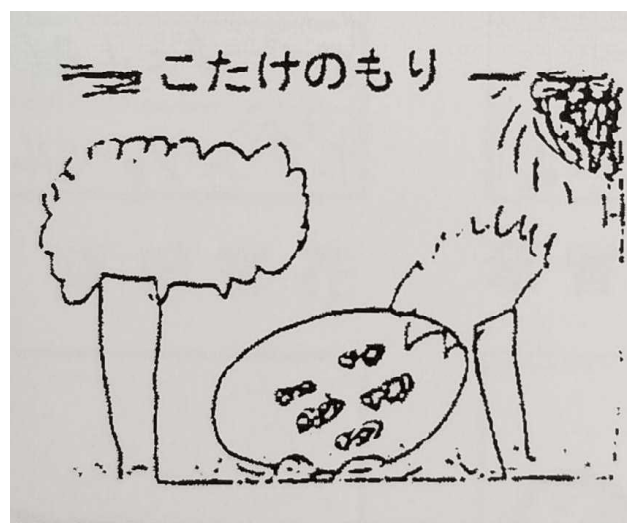
校長 佐藤 正文



【開校40周年 航空写真】

第11代校長小坂茜先生の巻頭言の中に、「この度の40周年にちなんで、本年度から始まった総合的な学習の時間で、小竹の植物を調べて名札をつけたり、小竹の森の歴史を調べて池をよみがえらせようとしたり、児童と教職員が一体となっていていろいろな活動に取り組んでいます。」とあります。

総合的な学習の時間の移行期であり、自ら課題を見付け、課題解決に向かう資質能力を培う「生きる力」をつける教育がスタートした時代です。



【がっこうたんけん イラスト】

「とってもうきが おいしいよ。すずしいよ。」

40周年記念誌には、生活科と総合的な学習の時間の取組の成果として、「わたしたちのこたけ」をテーマに、1年生「がっこうたんけん」、2年生「グリーンランドしょうかい」、3年生「小竹町あらかると」、4年生「小竹っていいな」、5年生「小竹の昔、今、そして未来」。6年生「小竹の森へ行こう」のように、各学年が記事をまとめています。(1・5・6年生を紹介します)

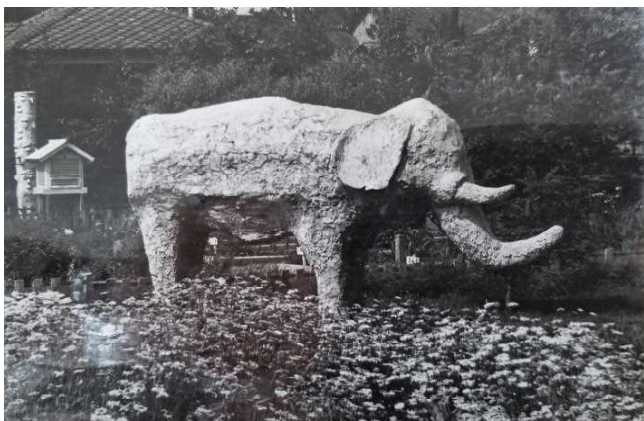
1年生「がっこうたんけん」では、校舎と校庭を分担して、一人一人が探検した場所をかわいらしいイラストを中心にまとめています。感性がとても豊かです。

## 平成元年度からの卒業制作

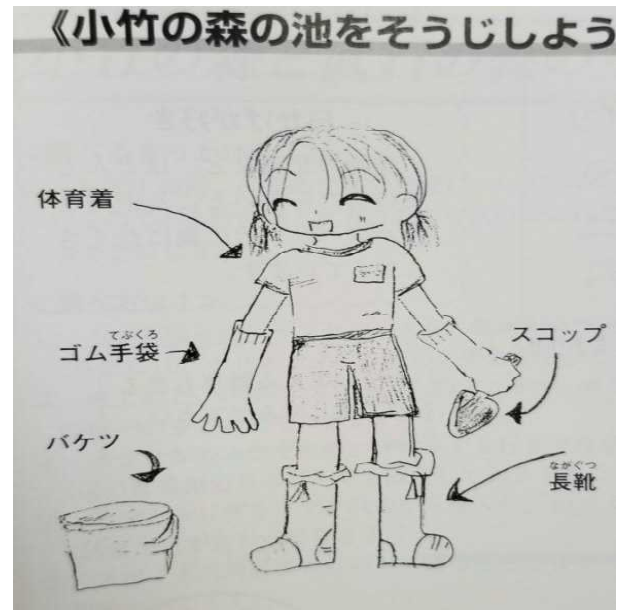
平成 元年度	樹木プレート
2 年度	タイヤの遊具
3 年度	小竹の森の柵など
4 年度	教室表示
5 年度	巣箱
6 年度	手紙入れ
7 年度	本箱
8 年度	跳び箱の絵
9 年度	ランチルームの花瓶
10 年度	自然観察園
11 年度	体育館壁画

### 【思い出の卒業制作】

5年生は「小竹の昔、今、そして未来」をテーマに学習に取り組んでいました。「発見！ここにもあった卒業制作」と「悲話？幻の卒業制作」は、私にとって興味深い記事でした。小竹小学校の校舎内には、先輩たちが残してくれた作品が数多くあります。昭和から平成へと、移り変わる時代を感じます。また、古いアルバムの中にあった「象やラクダ」のオブジェの写真は何だろうと不思議に思っていました。が、「幻の卒業制作」の記事により、当時の卒業制作であることが分かりました。昭和39年度（1964年度）の卒業制作でした。



6年生の「小竹の森へ行こう」では、昭和61年度（1986年度）の卒業制作である「小竹の森の池」を、6つの視点から調べ学習をすすめています。〈①小竹の森の概要②よみがえれ 小竹の森の池③小竹の森に咲く草花たち④小竹の森で出会った小鳥たち⑤ミクロの世界 小竹の森の池の微生物⑥小竹の森と武石の森の空気〉



4名のメンバーで活動した「②よみがえれ小竹の森の池！」には、チャレンジ精神を感じました。池の歴史を学び、枯葉や枯れ枝が落ち、池の水も黄土色になってしまっている池をきれいにしようと、掃除の手順も考え作業に取り組んでいました。池の中をきれいにした後、池の周りに「くい」を打ち、セメントで固めています。池に土を入れ、ショウブ、アシなどの植物を植えました。水を入れたからは、メダカ、タナゴ、コイ、クチボソ、フナなどを放すことにする予定だとあります。小竹小の環境をよりよくしようと自ら考え、実行した貴重な実践です。

【次号10月臨時号は、

開校50周年記念誌へとつづきます。】